



## 「めぐる労働講座2025」を開催

### 年金問題を労働組合で取り組む意義

12月9日(金)夜、目黒労協主催：東京都労働相談情報センター大崎事務所の共催で、「めぐる労働講座2025」を鷹番住区センターにて開催し、特定社労士の北村博昭さん(ブレイス東京社会保険労務士法人)より、17人の参加者が「年金」に関することを学びました。

「老後いくら必要か」「依然続く女性の低年金」「いくらもらえる？」から、年金の「繰り上げ・繰り下げ支給」

「在職老齢年金」「遺族年金」など、お話しは多岐にわたりましたが、結論は「投資でなく社会保障で老後を守る

う！」と締められました。年金に関する問題は、現役世代の人たちも「自分たちの問題」ととらえ、労働組合の取組みが求められます。参加者からも多くの質疑があり、活発な討論となりました。

\*講演の資料など目黒労協 HP に収録しています。(目黒労協/事務局)



## 加盟労組の定期大会が行われました

### 目黒区職労 第88回定期大会開催

去る11月27日(木)、目黒区中小企業センター会議室において、第88回・目黒区職員労働組合定期大会

が開催されました。執行部より1年間の経過報告と次期1年の運動方針案が示され、各支部等からも活動報告や、問題提起などもされ、活発な討論が行われました。

中でも、ある区立保育園の、給食を担う民間業者が突然の撤退を決め、翌日から業務を停止するという事態が生まれるなど、「民間委託」の危うさと、公的責任の重さを考えさせられる発言が印象的でした。

一方で、労働組合として、組合員に対する文化厚生事業も充実させていく必要性も確認され、経過報告・運動方針とともに、全会一致で承認されています。

(目黒区職労/執行委員長)



# 全労連：東京地評 争議支援総行動

12月3日（木）の全労連・東京地評争議支援総行動は、争議支援行動を集中し各社前行動などを実施。2025年は5月28日も実施。ともに当日配布の各争議団ビラなど、目黒労協HPに収録（目黒労協/事務局）

## 「定年後再雇用賃金差別」を闘う JMITU 日本IBM支部

12月3日のアイビーエム本社前集会に参加しました。何となく感慨深く感じているのは、それまでIBM支部委員長を長きに亘って務めてきた大岡さんに代わり、笹目さんという少し年齢の若い人の登場によるものかもしれません。支部のたたかいは、南部地協にいて長い間見てきましたから、その苦労の大変さと果敢な闘争心にはいつも感心させられています。



2009年当時の日本IBM社長は雑誌インタビューで、「人事制度改革で日本の毒味役になる」と公言した人物で、その後の社長も、この社長方針を受け継いできていることは容易にうかがえます。一つひとつの争議が終わっても、また次の争議が連続して起きています。今では学生の人気ランキングでも200番外だ、との声も聞こえてきています。JMITU 日本IBM支部は、「シニア契約社員(再雇用)の労働条件」について闘っています。会社は都労委の救済命令に従わず、中労委に再審査申し立てを行いました。非道の路には終わりが見えないようです。(JMITU 目黒地域支部/委員長)

## 「不当解雇・賞与減額」と闘う JMITU アルファベットユニオン支部

12月3日争議総行動、お昼過ぎ、渋谷駅となり「SHIBUYA STREEAM」ビル前の陸橋の上に、この日の参加者全員が集まりました。このビルの中に、グーグル合同会社の日本法人があり、JMITUに加盟する組合員たちが働いています。またグーグルの親会社が「アルファベット」であるため、2023年3月に「JMITU Alphabe(アルファベット)ユニオン支部」として組合結成されたものです。

11月の目黒労協第74回大会に委員長の小林さんが参加し、「報復的賞与減額」「PIP 不当解雇」「団交拒否・組合ビラ破棄妨害」など、都労委・東京地裁で闘っており、支援を訴えました。この日も小林委員長が多くの参加者の前に立ち、「自分たちのことだけでなく、日本の労働法破壊を止めるために闘っている」と訴えました。(JMITU 目黒地域支部/通信員)



## 羽田空港イミグレーション業務 賃金未払い、雇止めと闘う

羽田空港の出入国審査の乗客らを誘導、案内しサポートする仕事。これが入管から一年契約で民間企業に委託されており、「阪急交通社」など大手から孫請け委託に。しかし数年にわたる給与遅配・欠配の中で労組結成(全労連・全国一般)。2024年4月、受託企業が毎年変わっても、労働者は引き続き雇用されるのが普通なのに、1年契約の更新に際して、組合役員などを排除。賃金未払い問題も続いています。西新橋の阪急交通社前で集会。





## 「パワハラ→不当解雇」と闘うミニサーキットヨコハマ爭議

爭議総行動の午後は自由が丘に、ミニサーキットヨコハマ(株)が入るビル前で集会。自由が丘駅の田園調布側ホーム下、料理学校ビルの5階にあります。区界を超え住所は世田谷区奥沢ですが、自由が丘駅から3分です。パワハラ→懲戒処分→賃金カット→2024年12月3日に解雇通知。全労連・全国一般神奈川地方本部に結集し、裁判闘争を展開中です。

同社HPより：「ミニサーキット」の社名を冠した、Mini-Circuits製品（高周波部品全域）の正規専門代理店として設立。横浜市にて事務所を構えスタート。以来Mini-Circuits社の優れた製品を輸入販売。平成11年にこの場所に移転し現在に至ります。

めぐろユニオンは、この闘争を区内爭議と位置づけ支援したいと思います。（めぐろユニオン/通信員）



### 集結は東京地裁前で「爭議解決を！」

爭議総行動、最後は東京地裁前で集結。宣伝カー壇上には、東京都スクールアウンセラー雇止め爭議（公共一般心理職ユニオン）、日航爭議（JHU：JAL被解雇者労働組合）、全労連全国一般東京の各氏が立ち、解雇爭議などへの司法の公平な判断を求めました。1日の総行動はここで終わりですが、闘う仲間の支援は引き続き行っています。（目黒労協/事務局）



## 闘う仲間の爭議支援を続けていきます

### CUみなと:医療法人厚生会分会

11月28日、港区の厚生会古川橋病院で、朝のスタンディング行動。全港湾労組の宣伝カーなども加わり、CUみなと医療法人厚生会分会が、約10名で宣伝行動。目黒労協の定期大会に参加し、闘争支援を訴えた岩淵さんの、解雇撤回を訴えるアピール行動です。

渋谷から新橋行都バスで、約20分の古川橋バス停、または高輪白金台(東京メトロ南北線)が最寄り駅になります。月に2~3回のスタンディング行動で、当日もJMITU 目黒地域支部が参加していますが、同じ地域労組であるめぐろユニオンも、今後、支援に参加できたらと話合っています。（めぐろユニオン/通信員）



### 自治体キャラバン 2026 スタート 東京春闘共闘学習交流集会



12月10日、東京労働会館ラパスホールにて、東京春闘共闘主催の学習交流集会が開催されました(労協HPに当日の記録・報告集を掲載しました)。目黒区からの回答(文書)もあり、現在、資料、まとめを行っています。私たちは直接の懇談を求めています、区は例年通り「拒否」をしており、再度要請中です。（目黒労協/事務局）

# 地域共同での取り組み

## 社保協と保問協合同で「保育」宣伝

11/25(火)の夕方、学芸大学駅前で目黒社会保障推進協議会と、目黒保育問題協議会が合同で保育宣伝を



実施、19 人の関係者が参加しました。国に対し「だれもが安心して子どもを生み育て、ゆとりある生活が保障されるよう、すべての働く人の賃金を引き上げ、労働時間を短縮して下さい」、東京都に対しては「保育士が安定的に働き続けるための施策を拡充して下さい」などを訴え、あわせて署名の協力も行いました。社保協には目黒労協も加盟しており、東京土建目黒支部・目黒区職労(\*保育士)・JMITU・めぐろユニオンなどの組合員が参加しました。(目黒労協/社保協担当)

## めぐろ戦争させない平和展 2025

「今年は、戦後・被爆 80 年。戦争を知らない世代が多くなるとともに、戦争体験者も数少なくなっています。日本被団協のノーベル平和賞は、核廃絶を訴え続けることの大切さを示しました。地域の人々の戦争体験を語り継ぎ、戦争遺跡や資料を掘り起こし、戦争の持つ残忍さと平和の尊さを、『目黒区平和都市宣言』40 年に多くの若い人たちと一緒に考えたいと思います」との呼びかけで、12 月 6 日(土)・7 日(日)の 2 日間、「資料展示」と「講演」などが区民センターで行われました。昨年ノーベル平和賞受賞の、日本被団協・和田征子さんの講演も含め、2 日間通して 360 人の来場がありました。

目黒労協は主催者になっていませんが、加盟組合の東京土建目黒支部が、「沖縄プロジェクト取組み」を展示し参加。沖縄の戦争と平和を考える企画で参加し、大いに活動をアピールしました。



☆展示された資料・写真や、900 回を終えためぐろピースウォークスタート時(2003 年)資料、目黒区内の戦争遺産紹介など、労協ホームページに収録しました。(目黒労協/事務局)

## 2026年 春闘方針の提案・討議を！

# 「26春闘・第73回委員会」

～労働組合で守ろう、あなたの生活と権利！(仮)～

- 2 月 3 日(火) 鷹番住区センター 午後 7 時開会
- 代議員の確保をお願いします、委員会の成功を！
- 労協春闘方針提案の他、加盟労組よりも春闘方針報告を予定